



# 日本多発性硬化症協会

(略称日本MS協会)

【名古屋学芸大学の学長であり、日本多発性硬化症協会の会長である井形先生が「日野原重明賞」(健康予防科学賞)を受賞されました。】

(2012年1月21日(土) 中日新聞夕刊掲載 — 添付)

日本総合健診医学会(理事長 日野原重明先生)は、毎年予防医学に貢献のあった1名を「日野原重明賞」(健康予防科学賞)として表彰しています。本年は40周年の節目で井形昭弘先生が受賞されました。国際内科学会で日野原理事の後任理事として日野原先生が推進された予防医学の主張を継続したこと、また「あいち健康プラザ」(健康づくり施設、日本一の規模)を創設したこと、介護保険の導入に際し、審議会の責任者として介護に健康づくり(介護予防)を導入したこと、総合健診施設の第三者評価を担当する健康評価施設査定機構の理事長の職にあること、などが受賞の対象となりました。

## 名古屋学芸大学

# 井形昭弘学長が「日野原重明賞」を予防医学分野での功績が評価され受賞されました。

### 予防も医師の使命

予防医学分野の功績が評価され、名古屋学芸大学長の井形昭弘さん(へい)が愛知県豊明市前後町で日野原重明賞を受賞した。「病院で白衣を着て待っているだけが医師ではない。病気にさせない、病



気になってもひどくさせないのも使命」

東京大医学部

を卒業。鹿児島大学長を務め、国立長寿医療研究センター設立にも尽力した。介護保険導入では、厚生省の老人医療福祉審議会部会長として予防的給付の重要性を訴えた。

「延命技術だけで人は救えない」が持論だ。

<2012年1月21日(土) 中日新聞夕刊掲載>